



CHANDLER™  
LIMITED



# RS124 Compressor

## 取り扱い説明書



[www.umbrella-company.jp](http://www.umbrella-company.jp)

\* この取扱説明書は株式会社アンブレラカンパニーが正規に販売する製品専用のオリジナル制作物です。

無断での利用、配布、複製などを固く禁じます。

# CHANDLER LIMITED RS124 COMPRESSOR



## POWER

Chandler Limited RS124 はパワーサプライを内蔵しています(外部パワーサプライは不要です)。付属の ACケーブルを使用してください。**115-120V設定で動作**(設定変更で220Vも可)します。

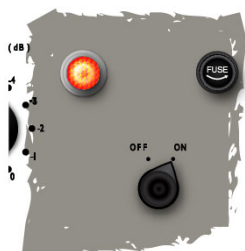
## INPUT/OUTPUT

RS124のオーディオ入出力はXLR仕様(2番ホット、+4dB、トランスフォーマー・バランス)です。出力インピーダンスは600または200オームにスイッチで変更が可能で、トーンやゲインの変化が得られます。600オームのセッティングは近代的なスタジオ環境では標準的ですが、アビイ・ロード・スタジオでは200オーム・セッティングを標準としています。

## STEREO LINK

Chandler Limited RS124は、1/4"のケーブルを使用して、2台をステレオ・リンクできます。ステレオ・リンクされても各コンプレッサーのコントロールは有効です。

## ON/OFF



オン・オフスイッチです。オンになると Jewel Light が光ります。

## BAL.

どんなプッシュ/プル回路のアンプ設計でも、経年変化によりプッシュ/プル・バランスが変化し、予期せぬ音質への影響が免れません。全ての真空管式のコンプレッサーに同じことが言えます。プッシュ/プル回路がアンバランスになった場合、サウンド(特に低域)にごく僅かなブレやディストーション、またはモジュレーションが生じます。

BALスイッチは回路上のプッシュ/プル・バランスを再調整できる優れた機能です。BALスイッチを押しているあいだに「クリック音」が出力されます。スイッチ上のトリムをマイナスドライバーで調整して、「クリック音」が最小になるよう調整を行います。その状態でリバランス調整が行なわれた状態です。



### HISTORIC NOTE:

初期のRS124にはBAL機能はありませんでしたので、通常の真空管コンプレッサー同様に定期的に技術者がリバランスのメンテナンスを行う必要がありました。セッション中にその必要性が出てしまう場合などは厄介で、セッションを中断しなくてはなりませんでした。当時のエンジニアLen Page氏はネオンバルブとモメンタリ・スイッチ、そしてトリムポットを利用した、小さなバランス回路をRS124に追加搭載することを思いつきました。

モメンタリ・スイッチを押している間「クリック音」がプッシュ/プル両側のアンプに逆相で送られるので、トリム調整によってクリック音が一番小さくなるように調整するだけで良いのです。セッション中であっても極めて簡単な調整でリバランスをとれるため重宝された機能になりました。

## INPUT CONTROL

“INPUT CONTROL” は、可変式(\*)の入力レベル調整です。0～10と記載されています。入力レベルとスレシヨールドをコントロールします。

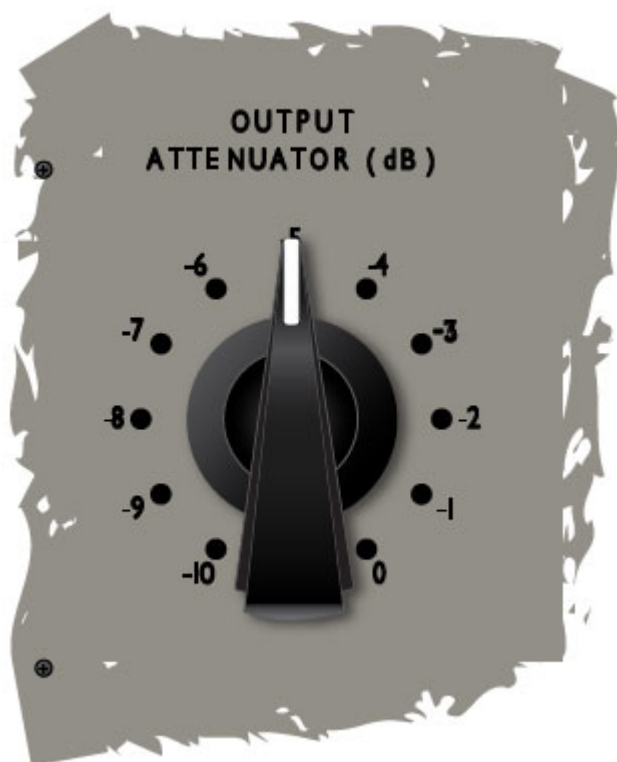
\*ステップ式のインプット・コントロールをご希望の場合は、ご購入時に特別オーダー(オプション別料金)も可能です。



## OUTPUT ATTENUATOR (db)

‘OUTPUT ATTENUATOR (db)’ は可変式(\*)の出力レベル調整です。値0~-10で調整が可能です。

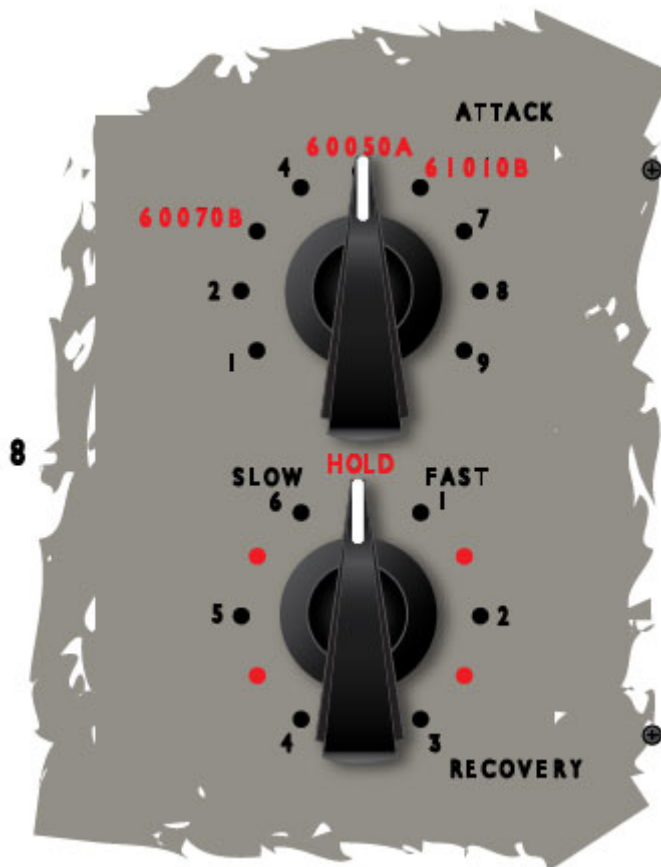
\*ステップ式のアウトプット・コントロールをご希望の場合は、ご購入時に特別オーダー(オプション別料金)も可能です。



## ATTACK

RS124にはオリジナル機には搭載されていない、アタック・コントロールが装備されています。アタック・コントロールは9ポジションが用意されています。左側のポジション1が最も速いアタックタイム、数字が大きくなるにつれ遅いアタックタイムになっていきます。

またRS124にはアビー・ロード・スタジオに実在する3台のRS124コンプレッサーが持つそれぞれのサウンドを、このスイッチのポジションに赤色の文字で記載された「シリアル番号(60070B, 60050A, 61010B)」で選択することができます。ザ・ビートルズをはじめとする様々なロック・レジェンド達が使用したRS124のサウンドを、そのシリアル番号別に再現することが可能です。



### HISTORIC NOTE:

ロック史上においても貴重なユニットであるアビー・ロードのRS124は1台1台ごとに個性をもっていました。ですからアビー・ロードのサウンドエンジニア達は、セッションごとにRS124をシリアル番号で指定して使用していました。オリジナルのRS124はアタックタイムが固定で、その1台1台がそれぞれの値を持つよう設計されていたのです。

## RECOVERY

“RECOVERY”は11ポジション(ステップスイッチ式)のリリースタイム・コントロールです。

“RECOVERY”スイッチは、6つのリカバリー、またはリリースタイム・オプション用意し、最も遅いリリースタイムがポジション6位置、速いタイムはポジション1位置です。

また5つの赤色のドット位置は“HOLD”ポジションです。“RECOVERY”スイッチをどのHOLDポジションに合わせた場合でも、音源を最も直近にプロセスしたピークレベルで保持します。

## HISTORIC NOTE:

“HOLD”は独創性のある機能です。高いピークがあった場合に素早く近くのHOLDポジションにノブを合わせることで、コンプレッション・レベルを保持(プリセット)することができるようにしたものです。

レベルが急激に下がるような静かなパッセージでは、レベルがコンプレッションのスレッシュホールドを下回るため、サウンドエンジニアはスイッチを近くのHOLDポジションにセットして、楽曲の静かな部分が終わるまで保持するように使用していました。

## METER

ゲインリダクションメーターです、動作の目安としてご確認ください。

メーター 0 ポジションは電源電圧により変動します。

そのため0ポジションのメモリは太く幅を持ったデザインになっています。



## SUPERFUSE

フロントパネル上のFUSE(ヒューズキャップ)は実は隠しスイッチになっています(本当のヒューズはリアパネルにあります)。「SuperFuse」モードはこのスイッチを左側にセットした場合にアクティブとなり、RS124のパワーライトがより明るく点灯します。

「SuperFuse」モードは、RS124のパーソナリティを変化させるモードで、全体に速く、アグレッシブな動作になります。「SuperFuse」モードがオンの状態ではサウンドがより生き活きとして、モニターから飛び出してくるようなアグレッシブな音像になります。





# MAINTENANCE

## TUBES

長年の使用においてはバキューム・チューブの交換が必要となる場合があります。RS124は3つのバキューム・チューブ、6BC8, 6CG7, 6AL5を使用しています。

## **WARNING:**

極めて高い電圧設計となっております。絶対に電源をオンにしたまま(電源コードをコンセントに差し込んだ状態)で本体の内部にアクセスしないでください！チューブを交換するなどの場合には、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いてから5分以上経ってから行ってください。

## FUSE

リアパネルにあるのが「本物の」フューズ・ホルダーです。フューズを交換するには必ず本体の電源をオフにした状態で行ってください250mA スロー・ブロータイプのヒューズを使用してください。

**\*メンテナンスにつきましては必ず弊社技術部までご相談ください。**

**\*本機は 115~120V 仕様です。100V ではご使用いただけませんので、ステップアップ・トランスなど(別売)をご利用ください。**